

(H27-R1)さがえ未来創成戦略進捗確認表 ～具体的な取組状況(基本目標1)～

| 基本目標1 魅力ある「こころ」の機会を創出し、社会動態の改善を目指す | 数値目標 | | | 分野 | KPI | | | 基準値 | | | 目標値(H31) | | | H30.3末値 | | | H31.3末値 | | | R1.9末値 | | | 具体的事業 | 進捗状況 | H30年度及びR1年度上半期の取組み状況(※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載) | | | | | |
|---------------------------------------|--|---------|--------|-------------------------------------|---------------------------------------|--|--|------------------|--------|--------|----------|---------|--|---|-------|--|--|--|---|--------|----------|---------|-------|------|--|--------|-------|-----------|-------|-----------|
| | H30.3末値 | H31.3末値 | R1.9末値 | | 基準値 | 目標値(H31) | H30.3末値 | H31.3末値 | R1.9末値 | 基準値 | 目標値(H31) | H30.3末値 | H31.3末値 | R1.9末値 | 基準値 | 目標値(H31) | H30.3末値 | H31.3末値 | R1.9末値 | 基準値 | 目標値(H31) | H30.3末値 | | | H31.3末値 | R1.9末値 | H30年度 | R1年度(上半期) | H30年度 | R1年度(上半期) |
| 農業支援 | ①有効求人倍率:全国平均並み | | | 西村山1.20 ※寒河江 1.38 (平均) | 西村山1.25 ※寒河江 1.45 (平均) | 西村山1.16 ※寒河江 1.42 (4月～7月 平均) | 紅秀峰栽培面積 | 40ha (平成26年度) | 55ha | 50.1ha | 51.5ha | 51.5ha | 51.5ha | ・さくらんぼ労働力の確保(収穫期における若手短期労働者への市特産品の支給や研修会開催など) | ◎ | H30年度 | さくらんぼ箱詰め研修会(96人)、子育てママを対象としたさくらんぼ作業体験会(8人)、さくらんぼボーナス(1,283人)、さくらんぼ作業体験事業による学生ボランティアの受け入れ(11人)、さくらんぼオーナー制(201件)による収穫作業の軽減など4つの施策による労力確保対策を推進。 | R1年度(上半期) | ・さくらんぼボーナス(1,495人)、さくらんぼオーナー制(169件)を継続実施するとともに、さくらんぼ箱詰め研修会については、初心者のみを対象として開催(22人)。また別途、子育てママを対象としたさくらんぼ作業体験会(9人)、園地での作業も含めた一般を対象とした研修会(6名)を開催した。 ・短期間でも受入れ可能な農家と学生等のボランティアをマッチングする「さくらんぼボランティア事業」を立ち上げ、学生・企業等のボランティア延べ112名を受け入れた。 | | | | | | | | | | | |
| | ②今後5年間の社会減改善数:242人(累計) 直近5年間の社会減:-400人 今後5年間の社会減:-158人 | | | -260人 (27.1～ 29.12) | -241人 (27.1～ 30.12) | -284人 (27.1～ 1.8) | つや姫ヴィラージュ面積 | 40ha (平成27年度) | 80ha | 44.9ha | 45.2ha | 46.7ha | 46.7ha | ・つや姫ヴィラージュの市内各地区への拡大 | △ | H30年度 | 山形県のつや姫生産面積認定の頭打ちによる団地化の停滞の中、つや姫栽培ほ場の集約により、つや姫ヴィラージュの総面積は微増。 | R1年度(上半期) | 山形県のつや姫生産面積認定の頭打ちによる団地化の停滞の中、つや姫栽培ほ場の集約により、つや姫ヴィラージュの総面積は微増。 | | | | | | | | | | | |
| | 研修受入農業経営体数 | | | 3経営体 (平成27年度) | 6経営体 | 8経営体 | 8経営体 | 9経営体 | 9経営体 | 9経営体 | 9経営体 | 9経営体 | 9経営体 | ・紅秀峰・つや姫の販路拡大支援(輸出を含む) | ◎ | H30年度 | 紅秀峰の輸出において、国内輸送経路や輸出資材の変更等することにより劣化する果実を減少させることに成功し、販売時の品質及び実質的な販売量を向上させた。 | R1年度(上半期) | 紅秀峰の輸出において、台湾・マレーシアに加え、シンガポール及び香港に拡大。H31は紅秀峰の不作のため、発注を受けた数量の確保が出来ず、輸出量は微増となった(輸出品H30 560kg⇒R1 620.5kg) | | | | | | | | | | | |
| | 新規就農者数 | | | 53人 (累計:平成22年 ～26年) | 70人 (累計:平成27年 ～31年) | 34人 | 56人 | — | — | — | — | — | — | ・雪若丸や山形C12号などの新ブランド農産物の栽培環境整備及び販路確保 | ○ | H30年度 | ・「さがえ秋のうまいもの市」において、雪若丸試食会を開催し、市内における知名度向上を図った。 ・苗木販売が開始された山形C12号について、新植を促進するため、苗木購入費に対する支援を行った(1,330本) | R1年度(上半期) | 山形C12号を中心に新植及び省力樹形(Y字仕立て等)により栽培を行う園地の雨よけハウス(23a)整備を支援 | | | | | | | | | | | |
| | 地域伝統野菜(子姫芋など)や枝豆などの生産体制の強化(組織化及び組織強化等) | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・地域伝統野菜(子姫芋など)や枝豆などの生産体制の強化(組織化及び組織強化等) | ◎ | H30年度 | ・生産体制の強化を図るため、子姫芋組合に対し芋堀機(トラクターアタッチメント)の導入(2台)を支援 ・子姫芋について、取引が開始された飲食店において「寒河江子姫芋フェア」を15店舗で開催。また、市内において前記飲食店のシェフを招いて、市内飲食事業者との市産野菜についての勉強会を開催した。 | R1年度(上半期) | 伝統野菜等の市産野菜や農産物を使った加工品等の首都圏への販路拡大を図るため、飲食店へサンプルを提供 | | | | | | | | | | | |
| | 継続的な生産を支え、作業効率化などを図る設備への支援(高所作業車や雨よけテントなどの設備投資の補助など) | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・継続的な生産を支え、作業効率化などを図る設備への支援(高所作業車や雨よけテントなどの設備投資の補助など) | ◎ | H30年度 | ・さくらんぼ作業負担軽減安全確保事業において、高所作業車・乗用草刈機に加え、さくらんぼ選果機導入を支援対象とし、作業負担軽減を推進(20件補助)。 ・継続的な生産に向け、環境に配慮した農業を推進するために、樹木粉砕機を導入する団体に対し支援を実施。(6団体) ・紅秀峰用雨よけハウス(43a)及び紅秀峰用ハウス(24a)の整備を支援 | R1年度(上半期) | ・さくらんぼ作業負担軽減安全確保事業において、高所作業車、乗用草刈機導入、選果機を導入を支援し、作業負担軽減を推進(15件補助)。 ・継続的な生産に向け、環境に配慮した農業を推進するために、樹木粉砕機を導入する団体に対し支援を実施(2団体)。 | | | | | | | | | | | |
| | 後継者への円滑な経営移譲の支援 | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・後継者への円滑な経営移譲の支援 | ○ | H30年度 | 寒河江市担い手の会と連携しUターン者を含む後継者を育成するために、新たに首都圏をターゲットにしたマルシェへの出店(2回)や研修会を実施。あわせて農業士会、担い手の会、農業委員会及び寒河江市等が加盟する新規就農者支援育成協議会を通じた支援も実施。 | R1年度(上半期) | 寒河江市担い手の会と連携し、若手農業者の経営基盤の強化に向け、市場を過ぎない販売形態やどのような農産物であれば販路が確保されるかを学び、経営の基礎となる収入や生産体制の安定化を図る手段として検討していただくことを目的として、首都圏販路開拓のための経営戦略勉強会を開催。また農業士会、担い手の会、農業委員会及び寒河江市等が加盟する新規就農者支援育成協議会を通じた支援も実施。 | | | | | | | | | | | |
| | 新規就農者の受入れ体制の拡大(受入農業経営者への支援など) | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・新規就農者の受入れ体制の拡大(受入農業経営者への支援など) | ◎ | H30年度 | 市内の主要産地農業者(20名)宛てに入会して受入農家に係る面力を安請し、受入農家件数を昨年度(129年度)から91件に増加。また、新規就農者支援育成協議会に協力を要請し、新規就農者の園地確認及び面談による指導を実施。また、当協議会により新規就農者相談会(参加就農者19名)及びヤングファーマーズミーティング(参加就農者20名)を開催。新規就農者の定住促進の観点から住宅支援(2名)を実施。 | R1年度(上半期) | 新規就農者支援育成協議会に対して協力を要請し、農業次世代人材投資資金交付対象者2名に対し、4名(技術担当2名、農地担当1名、資金担当1名)のサポーターを任命するとともに、新規就農者の定住促進の観点から住宅支援(2名)を実施。 | | | | | | | | | | | |
| | 新規就農者(Uターン者などを含む)の確保等の強化 | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・新規就農者(Uターン者などを含む)の確保等の強化 | ◎ | H30年度 | 就農フェア等(5回)への出展(相談者数28人)や就農体験ツアー(1泊2回)及び農業体験(1泊1回、2泊1回)の実施。また、新規就農者への住宅支援、営農支援を継続実施。山形県担い手支援課と新規就農者の営農の現状や支援策等について意見交換会を実施。 | R1年度(上半期) | 就農フェア(2回)への出展や、就農体験ツアー(1泊、1回)及び農業体験(2泊、1回)の実施。また、新規就農者への住宅支援、営農支援を継続実施。その他、村山地区の各市町と県が連携して、就農希望者の円滑な就業・経営開始・定着まで支援できるようにするため研修会を実施。 | | | | | | | | | | | |
| | 農地集積・集約に向けた農地の流動化の促進(農地中間管理事業の促進など) | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・農地集積・集約に向けた農地の流動化の促進(農地中間管理事業の促進など) | ◎ | H30年度 | 農地賃貸借の契約更新時に農地中間管理事業を利用するよう呼びかけるとともに、農地中間管理事業推進会議を開催(9地区)し、農用地利用集積を推進(306件81ha) | R1年度(上半期) | 農地賃貸借の契約更新時に農地中間管理事業を利用するよう呼びかけ、農用地利用集積を推進。 | | | | | | | | | | | |
| 6次産業化に向けた組織設立や地産地消の促進など地域内流通等を強化する取組 | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・6次産業化に向けた組織設立や地産地消の促進など地域内流通等を強化する取組 | ○ | H30年度 | 「さがえのごっつお給食」の実施などを学校給食において継続実施するとともに、「葉山大根を使った美味しいレシピ集」を作成し、地産地消を推進。また、6次産業化を見越した新たな作物の試験栽培と加工品の試作を行う生産者への支援を実施。 | R1年度(上半期) | ・「さがえのごっつお給食」の実施などを学校給食において継続実施するとともに、JAさがえ西村山アグリランドの協力による「アグリランド運営委員会学校給食生産クラブ」など、年間を通じて計画的に地元産の農産物を購入する取組を実施。 ・給食食材の地産率向上を図るため、「寒河江産里芋」等を通年使用できるよう、カット冷凍野菜としての使用に取り組んだ。 | | | | | | | | | | | | |
| 企業支援・企業誘致 | 国・県の制度(人材確保・育成、技術開発、設備投資、販路開拓)を活用した寒河江市内の企業数 | | | 93件 (平成26年度) | 115件 (平成31年度) | 151件 | 245件 | 105件 | — | — | — | — | ・企業支援ニーズ発掘調査及び支援情報の発信(企業訪問、説明会、メールリスト発信など) | ◎ | H30年度 | メルマガ「さがえ企業支援だより」を通じて企業支援情報を発信(登録件数101件/配信回数21回)するとともに、市内外への企業訪問を実施(108件)。 | R1年度(上半期) | メルマガ「さがえ企業支援だより」を通じて企業支援情報を発信(登録件数101件/配信回数8回)するとともに、市内外への企業訪問を実施(105件)。 | | | | | | | | | | | | |
| | 地域再生計画や導入促進基本計画(仮称)の策定 | | | — | 策定 (平成30年度中) | 策定済 | 策定済 | 策定済 | — | — | — | — | ・地域資源等を活用した新事業への支援(国・県事業との連携した販路開拓や設備投資など) | ◎ | H30年度 | 「ふるさと名物応援宣言」を踏まえた国のふるさと名物応援事業補助1件(ニット企業)が採択されるとともに、市の販路拡大支援事業の補助を実施(ニット企業の海外出展1件)。 | R1年度(上半期) | 今年度から国内市場をターゲットとする国内の展示会への出展も対象とし、国内外の見本市への出展に対して、市の販路拡大支援事業の補助を実施(製造業、ニット企業、酒造の計4件)。 | | | | | | | | | | | | |
| | 製造品出荷額及び製造業従業者数 | | | 製造品出荷額 1,438億円 従業者数 5,494人 | 製造品出荷額 年間1,600億円 従業者数 5,620人 | 製造品出荷額 1,382億円 従業者数 4,908人 (H28) | 製造品出荷額 1,432億円 従業者数 4,886人 (H29) | — | — | — | — | — | ・ハローワークさがえと連携した企業の魅力PRやマザーズジョブ等を通じた人材確保への支援 | ◎ | H30年度 | ハローワーク、山形県との共催で就職面談会を計4回(市内2回/河北町1回/東京1回)を開催した。また、市商工会(西村山雇用対策協議会)、ハローワークと共催し、西村山管内の高校で就職を希望する3年生を対象とした地元企業説明会を開催した。 | R1年度(上半期) | ハローワーク、山形県との共催で就職面談会を計1回(市内)を開催した。(参加企業51社) | | | | | | | | | | | | |
| | 工業団地の立地企業数及び従業者数 | | | 企業数 82社 従業者数 4,074人 | 企業数 90社 従業者数 4,200人 | 企業数 84社 従業者数 3,922人 (H30.4) | 企業数 89社 従業者数 4,127人 (H31.4) | — | — | — | — | — | ・企業誘致・定着の促進(地域再生計画の策定、工業団地の拡張等に係る可能性調査の実施) | ◎ | H30年度 | 3社(物流業・レンタル業・産業ガス製造業)に寒河江中央工業団地約4.4haを分譲し、1社(運送業)と予約契約(0.4ha)を締結した。(未分譲地15.9→11.1ha) | R1年度(上半期) | 1社(物流業)が操業を開始し、2社(産業ガス製造業・レンタル業)が工場建設に着手した。また数社と分譲に向け商談中。 | | | | | | | | | | | | |
| 創業支援 | 創業支援事業計画の策定 | | | — | 策定 (平成27年度中) | 策定済 | 策定済 | 策定済 | — | — | — | — | ・金融機関・商工会及び他自治体と連携した広域創業支援体制の整備(創業支援事業計画の策定、相談窓口の設置・セミナーの開催) | ◎ | H30年度 | 金融機関や商工会から構成される創業支援等連絡調整会議を開催(1回)し、西村山1市4町と連携した創業セミナーを1回開催(合計6名参加)するとともに、創業者などをターゲットとした空き店舗等対策事業の補助(9件)。 | R1年度(上半期) | 金融機関や商工会から構成される創業支援等連絡調整会議を開催(1回)し、創業者などをターゲットとした空き店舗等対策事業の補助(5件)。 | | | | | | | | | | | | |
| | 創業支援対象者数及び創業者数(第2創業含む) | | | ※商工会を通じた創業支援8件 (平成26年度) | 対象者数 120人 創業者数 42人 | 対象者数 93人 創業者数 40人 | 対象者数 81人 創業者数 50人 | — | — | — | — | — | ・創業後のきめ細やかな支援(専門家による個別経営指導や地元ネットワークづくりの助成など) | ◎ | H30年度 | 創業後の安定経営を支援する観点から、起業創業支援(10件)及び創業者ビジネスネットワーク構築支援(14件)を実施。 | R1年度(上半期) | 創業後の安定経営を支援する観点から、起業創業支援(4件)及び創業者ビジネスネットワーク構築支援(12件)を実施。 | | | | | | | | | | | | |
| | 空き店舗情報の発信強化(空き店舗バンクの創設等) | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・空き店舗情報の発信強化(空き店舗バンクの創設等) | ◎ | H30年度 | 地図情報や店舗内写真などの詳細な空き店舗情報を集約した空き店舗バンクを創設し、市ホームページで物件情報を発信。 | R1年度(上半期) | 空き店舗バンクの情報を随時更新し、情報を発信中。(9月時点で12件の物件を掲載)。 | | | | | | | | | | | | |
| | 事業承継に後押しする取組 | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ・事業承継に後押しする取組 | ◎ | H30年度 | 事業承継を後押しするために、事業承継補助金を新設し、6件の事業承継支援を実施。 | R1年度(上半期) | 事業承継を後押しするために、事業承継補助金による支援を実施。 | | | | | | | | | | | | |

※事業毎の進捗状況: ◎→平成30年度までに実施済み ○→平成30年度までに実施していないが、令和元年度に実施済み △→平成30年度までに実施していないが、令和元年度実施に向けた準備活動中 ×→平成30年度までに実施しておらず、実施見通しなし
※R1.9末値が出ない場合は、「-」

(H27-R1)さがえ未来創成戦略進捗確認表 ～具体的な取組状況(基本目標2)～

| 基本目標2 地域資源を磨いて魅力を発信することで交流人口及び定住・移住人口増を図り、社会動態の改善を目指す | 数値目標 | | | 分野 | KPI | 基準値 | 目標値(H31) | H30.3末値 | H31.3末値 | R1.9末値 | 具体的事業 | 進捗状況 | H30年度及びR1年度上半期の取組み状況(※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載) | | | | | | | |
|--|--|-------------------|-------------------|-----------------|------|---------------------|--------------------|--------------------|------------|------------|--------------|------|--|---|---|-------|---|--|--|--|
| | H30.3末値 | H31.3末値 | R1.9末値 | | | | | | | | | | H30年度 | R1年度(上半期) | | | | | | |
| 基本目標2 地域資源を磨いて魅力を発信することで交流人口及び定住・移住人口増を図り、社会動態の改善を目指す | ①寒河江市を訪れた観光客数:353万人 | 359.2万人 | 355.1万人 | 118.1万人(R1.6末) | 観光振興 | 観光客数 | 343万人(平成26年度) | 353万人(平成31年度) | 359万人 | 355万人 | 118万人(R1.6末) | ◎ | H30年度 | 慈恩寺ガイダンス施設の基本設計を策定。チェリーランドの再整備計画の策定にあたってサウンディング型市場調査を実施。 | | | | | | |
| | ②今後5年間の社会減改善数:242人(累計) 直近5年間の社会減:-400人 今後5年間の社会減:-158人 | -260人(27.1~29.12) | -241人(27.1~30.12) | -284人(27.1~1.8) | | 宿泊者数 | 3.6万人(平成24~26年度平均) | 5万人 | 5.3万人 | 5.3万人 | 1.9万人(R1.7末) | ○ | H30年度 | やまがた雪フェスティバルや各自治体での観光イベントの実施にあたり、フルーツライン左沢線活用協議会(県及び1市6町等)による事業検証等を実施。 | | | | | | |
| | | | | | | 外国人観光客数 | 約1,500人 | 2,500人 | 2,800人 | - | - | ○ | H30年度 | 外国人観光客の受入体制として、無料公衆無線LANの維持管理ほか、受け入れに対応した知識とスキルの習得や、満足度の向上を目指し、観光関係事業者を対象とした研修を計画し人材育成を図った。 | | | | | | |
| | | | | | | 観光物産協会等のホームページアクセス数 | 7.2万回 | 8万回 | 8.7万回 | 8.3万回 | 7.6万回(R1.9末) | ◎ | H30年度 | 「さくらんぼの祭典」において、ワークショップとアウトドアのイベント「さがえのあそび」や粘つきみ取りなど地域の観光資源を活用した新たなイベントを展開。冬を代表する「やまがた雪フェスティバル」では、11月末に会場周辺のイルミネーションを準備し、2月中旬まで楽しんでいただくなど、イベントの内容を充実させた。 | | | | | | |
| | | | | | | イベント域外参加率 | 83% | 85%以上 | 87.6% | 91.7% | - | ○ | H30年度 | 平成29年11月に東北中央道の福島・米沢間が開通したことから、福島県や北関東エリアを対象としたさくらんぼ狩りキャンペーンを実施。また、酒田港への大型クルーズ船寄港に伴う「さくらんぼ狩り」バスツアーの受入など、新たな取組みを実施。 | | | | | | |
| | | | | | | 観光振興戦略の策定 | - | 策定(平成28年度中) | - | - | - | - | | | | | | | | |
| | 移住・定住支援 | | | | | 移住交流ポータルサイト等のアクセス数 | - | 1万回 | 8060回 | 12154回 | 7289回 | ◎ | H30年度 | 移住支援体制の整備(移住希望者向けの相談窓口の設置やハローワークとの連携など) | ◎ | H30年度 | 移住者向けの補助制度などの相談について移住希望者専用相談窓口(企画創成課)で受付。ハローワーク、山形県との共催で就職面談会を計4回(市内2回/河北町1回/東京1回)を開催した。また、市商工会(西村山雇用対策協議会)、ハローワークと共催し、西村山管内の高校で就職を希望する3年生を対象とした地元企業説明会を開催した。 | | | |
| | | | | | | 移住相談件数 | - | 250件(累計:平成27~31年度) | 299件(+156) | 446件(+147) | 524件(+78) | ◎ | H30年度 | ・若者Uターンの支援(独自奨学金返還支援制度の創設) | ◎ | H30年度 | 山形県若者定着奨学金返還支援事業(在学生が対象)において18名を認定。また、寒河江市若者定着支援未来創成事業(Uターン若者夫婦が対象)において1名認定。 | | | |
| | | | | | | U・I・Jターン住宅支援件数 | 20件(累計:平成24~26年度) | 150件(累計:平成27~31年度) | 178件(+69) | 273件(+95) | 342件(+69) | ◎ | H30年度 | ・Uターン子育て世代向けへの家賃補助などの移住定住に向けた住宅支援 | ◎ | H30年度 | 定住促進賃貸住宅家賃補助事業(31件・96人)、子育て定住住宅建築事業(移住者分56件・181人)、結婚新生活支援事業(6件・15人)、新規就農定住促進支援事業(2件・5人)により移住定住に向けた住宅支援を実施。 | | | |
| | | | | | | シティプロモーション戦略の策定 | - | 策定(平成27年度中) | 策定済 | 策定済 | 策定済 | ◎ | H30年度 | ・戦略的な魅力発信(シティプロモーション戦略の策定や移住・交流ポータルサイトの開設など) | ◎ | H30年度 | 市HPにシティプロモーションを行う情報掲示を行った。また、フリーペーパー等へのPR記事掲載や、首都圏の交通機関への広告を掲載し、市のPRを行った。 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※事業毎の進捗状況: ◎→平成30年度までに実施済み ○→平成30年度までに実施していないが、令和元年度に実施済み △→平成30年度までに実施していないが、令和元年度実施に向けた準備活動中 ×→平成30年度までに実施しておらず、実施見通しなし
※R1.9末値が出ない場合は、「-」

(H27-R1)さがえ未来創成戦略進捗確認表 ～具体的な取組状況(基本目標3・共通目標)～

| 実施・基本目標3率・結婚・出生・出産・子育て・自然動態の改善を目指す施策を充 | 数値目標 | H30.3末値 | H31.3末値 | R1.9末値 | 分野 | KPI | 基準値 | 目標値(H31) | H30.3末値 | H31.3末値 | R1.9末値 | 具体的事業 | 進捗状況 | H30年度及びR1年度上半期の取組み状況(※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載) | | |
|--|------------------------------------|--|---|---|--|---|--|--------------------------------|---|---------------------|--|--|---|---|--|-------------------------------------|
| | | | | | | | | | | | | | | H30年度 | R1年度(上半期) | |
| 共通目標 | ①合計特殊出生率:1.7人 | 1.39 (H29.1~12) | - | - | 結婚・出産・子育て支援 | 婚姻率 | 4.4 (平成25年度) | 5 | 3.6 (平成28年度) | 4.1 (平成29年度) | - | - | ・結婚活動への支援(婚活コーディネーターや結婚支援活動団体への支援など) | ○ | H30年度 婚活コーディネーターによる成婚2件 婚活支援団体への支援2件、結婚新生活支援6件 | R1年度(上半期) 婚活支援団体への支援1件、結婚新生活支援2件 |
| | | | | | | 山形いきいき子育て応援企業数 | 34社 (平成26年度) | 50社 | - | - | 40社 (R1.8末) | ・妊娠から子育てまでの切れ目のないソフト支援「寒河江型ネウボラ」(子育て世代包括支援センター)活動の推進、子育て支援ガイドブックの作成・配布など | ◎ | H30年度 特定不妊治療費助成上限額を30万円に増額するとともに、県の助成事業に加え市独自助成も実施した。一般不妊治療(人工授精のみ)の保険適用外治療費について新たに一部助成を開始(通算2年間で上限7万円)した。妊産婦等支援専門員(助産師)を新たに配置し、産前産後サポート事業として助産師による相談・教室等の事業を実施した。 | R1年度(上半期) 新たに新生児聴覚検査費用の助成事業及び不育症治療費助成事業を実施した。 | |
| | 子育て支援に満足している方の割合 | - ※子育て支援に不満に思わない割合 63.7%(就学前児童保護者に限る) | 70%以上 | - | | 子育て支援に不満に思わない割合 76.2%(就学前児童保護者に限る) | - | - | ・子ども・子育て世代への経済的支援の強化(医療費無料化の対象拡大、任意予防接種助成の対象拡大、学校給食の無料化、幼児教育・保育無償化) | ○ | H30年度 ・医療費の完全無料化については、平成30年7月受診分より、対象範囲を高校3年生まで拡大して実施した。 ・小学校給食費は1食280円のうち保護者負担の半額(140円)を助成、第3子以降は全額(280円)助成(実質無料化)。中学校給食費は1食310円のうち15円を助成して、保護者の負担軽減を図った。 | R1年度(上半期) ・令和元年10月からの幼児教育・保育無償化の実施に向けて、準備作業を行った。 ・小学校給食費は1食280円のうち保護者負担の半額(140円)を助成、第3子以降は全額(280円)助成(実質無料化)。中学校給食費は1食310円のうち保護者負担1食あたり15円の助成から半額(155円)助成に拡充し、保護者の負担軽減を図った。 | | | | |
| | 住みやすさに関する満足度 | 73%(平成26年) | 80%以上 | - | | 74.7% | 69.3% | ・都市計画マスタープランの全体構想と連動したまちづくりの推進 | ◎ | H30年度 | 中心市街地を通過する必要のない大型車両等を城外通行に誘導するなど中心部の交通環境の向上を図るため、中心市街地を囲むように形成する内回り環状線の都市計画道路、落衣島線(西根地内)の測量業務等の実施 | R1年度(上半期) | 都市計画道路、落衣島線(西根地内)の測量業務等の実施 | | | |
| | | | | | | | | | | ・住宅団地造成の促進及び住宅取得の支援 | ◎ | H30年度 良好な住環境の整備促進を目的とした宅地開発事業者への助成を実施(3件)個人の住宅取得への補助を実施(130件) | R1年度(上半期) 良好な住環境の整備促進を目的とした宅地開発事業者への助成を実施(4件)個人の住宅取得への補助を実施(84件) | | | |
| | ・空き家/バンクの拡充等の空き家対策の推進 | ◎ | H30年度 | 県宅建協会寒河江市部と合同で空き家相談会を実施(33件) | | R1年度(上半期) | 市内全域の空き家の調査を実施。また、老朽危険空き家解体補助の調査を実施(10件) | | | | | | | | | |
| | | | ・フローラSAGAEなどを活用した中心市街地の活性化(中心市街地の活性化を推進する計画の策定など) | ◎ | | H30年度 にぎわい創出支援事業の補助(9件)、寒河江駅前自由市場(ちえり〜マルシェ)の実施(10回:のべ参加者数9,240人)及び寒河江駅前ふれあい盆踊り大会(参加者数1,500人)を開催した。 | R1年度(上半期) にぎわい創出支援事業の補助(2件)、寒河江駅前自由市場(ちえり〜マルシェ)を実施(5回:のべ参加者数8,421人)。※今年の寒河江駅前ふれあい盆踊り大会はちえり〜マルシェとの同時開催 | | | | | | | | | |
| | ・空き店舗の活用や克雪の観点を踏まえたまちづくりの推進 | ◎ | H30年度 | ・地図情報や店舗内写真などの詳細な空き店舗情報を集約した空き店舗バンクを創設し、市ホームページで物件情報を発信。 ・雪対策としては、雪の総合窓口の設置や除雪情報管理システムを導入し、きめ細やかな除雪の実施(一斉除雪7回) | | R1年度(上半期) | 空き店舗バンクの情報を随時更新し、情報を発信中。(9月時点で12件の物件を掲載) | | | | | | | | | |
| | | | ・生活サービスを効率的に提供するネットワーク(公共交通等)や地域の拠点づくり | ◎ | | H30年度 | デマンドタクシー、市内循環バスの利用率向上や普及に向け、チラシ・時刻表作成について、民間事業者と連携して実施。 | R1年度(上半期) | デマンドタクシー、市内循環バスの利用率向上や普及に向け、広報・周知 | | | | | | | |
| | ・きめ細やかな地域づくり支援を通じた地域の拠点化(廃校の利活用など) | ◎ | H30年度 | 学びの里TASSHOIにおいて宿泊事業や里山レストラン「たしろ亭」などのコミュニティビジネスを開始。地域の活力アップ応援事業を活用した地域づくりを促進するため取り組みやすいメニューを新設し、補助事業を実施。柴橋地区コミュニティセンターの利活用の検討及び実施設計。 | | R1年度(上半期) | 引き続き学びの里TASSHOIにおいて地元NPOがコミュニティビジネスを展開。地域の活力アップ応援事業を継続実施。柴橋地区コミュニティセンターの施工及び完成後の利活用について検討。 | | | | | | | | | |
| ・森林資源等の地域資源を活用したまちづくり(公共施設における地元産材の活用など) | | | ◎ | H30年度 | 市立なか保育所建設において、使用木材420㎡の内約7割に相当する280㎡を地域産材の西山杉を使用。また、いこいの森に県産材を利用したベンチ等を設置し利用普及を推進。 | R1年度(上半期) | いこいの森及びチェリーランドさがえに県産材を利用したベンチ等を設置し利用普及を推進。 | | | | | | | | | |

※事業毎の進捗状況: ◎→平成30年度までに実施済み ○→平成30年度までに実施していないが、令和元年度に実施済み △→平成30年度までに実施していないが、令和元年度実施に向けた準備活動中 ×→平成30年度までに実施しておらず、実施見通しなし
※R1.9末値が出ない場合は、「-」